

## 1. パン・菓子等販売店の実態把握・目詰まり解消

- 地方農政局が中心となり、個々のパン・菓子等販売店などに対する直接かつ詳細な聞き取りを強化。併せてアンケート調査も回収。
- これらの調査※で、**100件を超える**対応が必要な目詰まりを把握。既に全件に対応。
- **約9割について対応を完了**しており、引き続き、遡り調査等を行い順次解消していく。 ※ 調査数：約5,000件

### 目詰まり解消事例

#### 【デザートカップ】※1

菓子販売店から、水羊羹で使うデザートカップが納入されないとの声があり、水羊羹の販売継続が危ぶまれた。  
⇒ 製造メーカーに、「原材料を主要商品や大口客からの注文が多い資材に優先して割り当てていたが、**デザートカップの供給も可能**」と確認。菓子販売店に情報を共有して供給不安を解消し、水羊羹を継続して販売可能となった。

※1 →



#### 【ガゼット袋】※2 【ガス袋】※3

10以上のパン・菓子等販売店から、共通の製造メーカーのガゼット袋、ガス袋等が入ってこないとの声があり、パンや焼き菓子等の販売継続が危ぶまれた。  
⇒ 製造メーカーに、「**前年比100%で製造ができています**」と確認。卸や菓子販売店に情報を共有し、10以上の販売店においてパンや焼き菓子等を継続して販売可能となった。

←※2



※3 →



※2 ガゼット袋：マチの付いた袋 ※3 ガス袋：酸素を通さない処理を施した「ガスバリア性」に優れた包装袋

(事業者間でのタイムリーなコミュニケーションの不足)

### 他の現場の声

- **必要な量は調達出来ている**。ただ、前年に比べて、発注から納品まで時間を要している。
- 問屋から供給が止まっている製品については**代替品で対応**している。
- 3月ごろから影響があったが、**納品見込みのメドがたってきた**。

## 2. 園芸農家の実態把握・目詰まり解消

- 園芸作物の約半分を取り扱っており、**園芸農家の生産資材の主な購入先**となっている、**全農県本部**、**経済連**などの県域組織や、**各地域の総合農協**を通じた聞き取りを実施。
- 並行して、有機野菜、かんきつ、花きなど**各作物専門の農業者団体**、**生活協同組合**、果実の生産・加工・販売を行う**農業法人**など個別農業者、**自治体の役場**等からの聞き取りも実施。
- 地方農政局等の県拠点・地域拠点を総動員して資材供給に関する現場の声を広く集め、目詰まりに関する情報について、遡り調査等を行い順次解消していく。

### 目詰まり解消事例

#### 【ポードン袋（防曇袋）】※1 【梱包用フィルム】※2

取引先から「メーカーが製造を中止している」と聞いた。取引先の在庫で対応しているが数ヶ月持たない。

⇒ 流通業者に、「現在は製造が再開されており、受注可能となっている」と確認。相談者に伝達して目詰まりを解消。

※1 →



←※2

#### 【野菜鮮度保持フィルム】※3

取引先からの出荷が停止。7～8月には農家の在庫がなくなる見込み。

⇒ 流通業者に、「現在はメーカーから2～4週間で納品されており、原材料不足になるような感触もない」と確認。相談者に伝達して目詰まりを解消。

※3 →



(事業者間でのタイムリーなコミュニケーションの不足)

### 他の現場の声

- 注文した資材の納品が遅くなっている。納期が不透明。
- 代替品を利用したり、資材を再利用するなどして、対応している。
- 平年ベースで必要と見込まれる資材の量は確保できているが、豊作になる場合、災害が発生して施設を復旧する場合など、今後必要量が増えた場合に資材を確保できるか懸念。
- 4～5月に比べて、現在は調達状況が落ち着いてきている。